

Banff

International Programs in Language and Culture

2022



北海学園大学人文学部



Strengthening the HGU-ULeth Partnership



Paul Pan, BA, MBA
Executive Director
University of Lethbridge International



The relationship between Hokkai Gakuen and the University of Lethbridge is profoundly important to our university. As our oldest and longest international partner, Hokkai Gakuen and the University of Lethbridge have worked together for over 40 years, with great success, on academic programs initially with faculty and subsequently with students.

On behalf of the senior administration and myself, I would like to invite you to join our University of Lethbridge International family. The University of Lethbridge is consistently ranked as one of the top small universities in Canada and has a long tradition of providing quality education and helping students achieve their personal and educational goals. The City of Lethbridge is a safe and friendly town in Alberta, Canada. Culturally vibrant with a flourishing arts scene and social calendar, our city boasts stunning scenery, four distinct seasons, spectacular sunrises, and glowing sunsets that illuminate Alberta's big sky.

There are endless opportunities for Hokkai Gakuen students to become involved in student life and community at the University of Lethbridge. We are proud that this community includes students from across Canada and over 90 countries! Here, lifelong friendships are made, and you may meet future business or research partners. The networks and relationships you build while you are here on campus will travel home with you to Japan.

Coming to the University of Lethbridge means joining and participating in a global community of students and faculty who seek to share and develop broad cultural understanding and a more complete view of our world. We live and work in a global society. Studying, learning, and sharing knowledge together prepare us for work and collaboration in this global environment. This is reflected in our school motto, *Fiat Lux* – let there be light – which refers to the illumination that comes from research and learning.

There is much to be gained through international and intercultural connections. At the University of Lethbridge, you will be able to develop yourself academically, culturally, and geographically as well as share your own culture, knowledge, and perspectives with us. We look forward to seeing you soon.



人文学部カリキュラムにおける語学文化研修 (2022年度以降)

英米文化特別演習：9月

英米文化特別演習は、9月初旬から約3週間、本学の協定校であるカナダ、レスブリッジ大学（アルバータ州）において、現地の大学の授業を履修するために必要な英語運用能力を養成するプログラム（EAP）の履修と現地での様々なアクティビティを通じた文化体験による研修です。参加学生にとってこの研修は、現地での様々な経験や出会いを通じてその後の新たな目標を見つけ、より長期の留学や進学を目指すなど、次のステップに向かうための重要な足掛かりとなっています。是非、多くの学生に参加してもらいたい研修です。



結団式



英米文化特別演習 II



国際文化特別演習

国際文化特別演習：9月～12月

国際文化特別演習は、英米文化特別演習と同じく協定校であるレスブリッジ大学において、現地での1学期（約14週間）を他の国からの留学生と一緒に English for Academic Purpose Program（EAP）で大学レベルでの学術研究に必要な英語運用能力を養成するための授業を履修します。3週間という期間の短い英米文化特別演習より、さらに大きな成果が期待されます。この科目は2年次より履修可能で、英米文化特別演習の参加経験の有無を問わず参加可能です。

Contents

挨拶	1	参加者エッセー [レスブリッジ大学 / 英米文化特別演習]	8
人文学部カリキュラムにおける語学文化研修	2	参加者エッセー [レスブリッジ大学 / 国際文化特別演習]	10
カナダ・レスブリッジ市及び レスブリッジ大学の紹介	3	Photo Gallery [Lethbridge 3Weeks]	13
レスブリッジ大学海外研修事業の概要と EAP 授業	5	研修までの流れ	14
レスブリッジ大学のアクティビティ	6	海外研修事業の歴史	15
Photo Gallery	7	Photo Gallery [Lethbridge 14Weeks]	17

カナダ・レスブリッジ市及びレスブリッジ大学の紹介

カナダの歴史



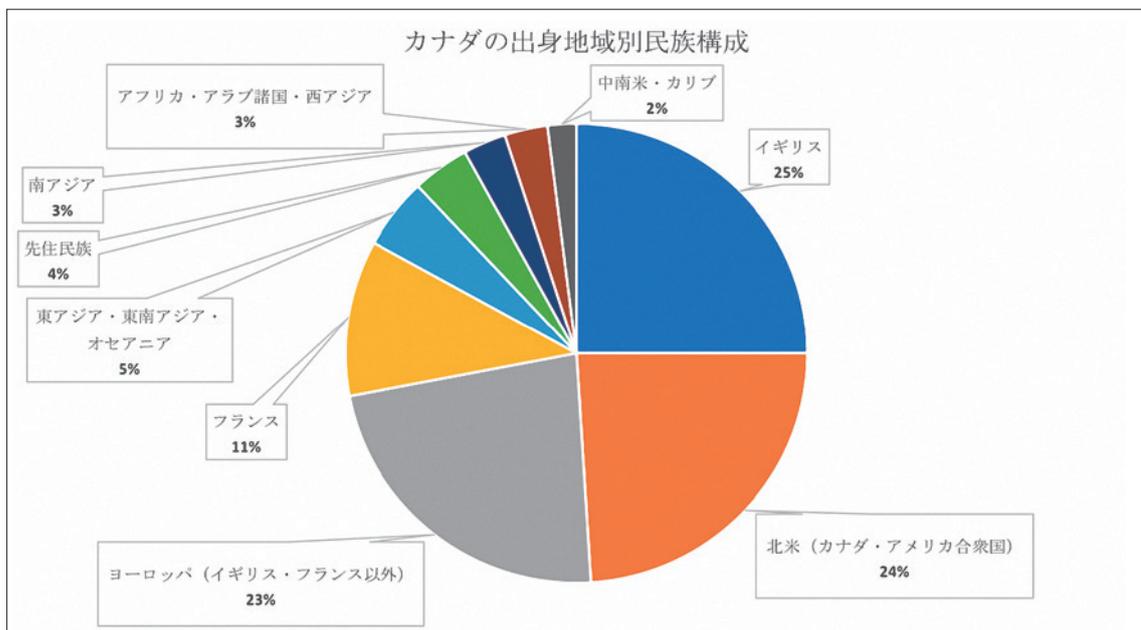
カナダの歴史は、大きく分けて「先住民社会期」「フランス植民地期」「イギリス植民地期」「連邦結成以降」の四つの時期に区分できます。古代から続いた「先住民社会期」は、先住民が環境の変化に適応しながら生活していた時代です。17世紀初頭にはフランス人によって植民地が建設され、「フランス植民地期」が始まります。しかし18世紀中葉までに繰り返された英仏戦争の結果、この地の支配権はイギリスに移り、「イギリス植民地期」となります。この時期のカナダの各植民地は徐々にイギリス本国からの自治を獲得してゆきましたが、南部で隣接する13植民地がアメリカ合衆国として独立し、両者の関係は悪化してゆきました。対米防衛に危機感を抱いたカナダ側は、1867年に植民地を統合してカナダ自治領を結成することになりました。この時点では依然としてイギリス領としての側面が強かったカナダですが、その後は緩やかに完全な独立国家へと変貌してゆきました。

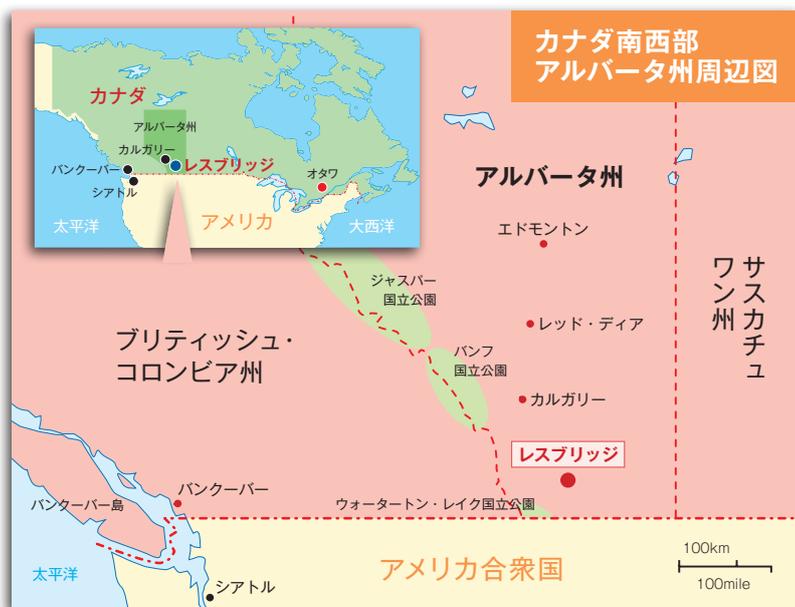


フランス植民地期の面影を色濃く残すケベック市街

カナダの社会

建国の歴史的な経緯から、カナダは当初から先住民、イギリス系の人々、フランス系の人々が混在する多民族国家でした。連邦結成後、大西洋岸から太平洋に至る大陸横断国家として発展してゆくなかで、さらにドイツ系、東欧・南欧系、中国系、日系など大量の移民が到来しました。1960年代までには、イギリス系でもフランス系でもないエスニック集団はカナダ全人口の3分の1を占めるまでになります。こうした状況を受け、1971年にピエール・トルドー首相は2言語主義の枠内での多文化主義を宣言しました。さらに1988年には「カナダ多文化主義法」が制定され、カナダは国家レベルで多文化主義を法制化した最初の国となりました。こうして多文化主義政策は現在のカナダの国是となり、それ自体がナショナル・アイデンティティの核心をなしています。現在では人口の5分の1が移民であり、そのうち約半数がアジア・太平洋地域出身者、4分の1がアフリカ・中東出身者を占めるなど、カナダの人種・民族の多様化はさらに進んでいます。





①日加友好日本庭園 ②レスブリッジ高架橋
③ガルト公園 ④レスブリッジ市街

レスブリッジ市

日本の都道府県レベルで唯一北海道の姉妹州となっているのが、カナダ西部のアルバータ州です。レスブリッジ市は、同州内でカルガリー、エドモントン、レッド・ディアに次ぐ4番目の人口（2021年時点で98406人）を有する都市となっています。カナディアンロッキーの近くに位置するため、夏は涼しく（平均26℃）、冬もさほど厳しくありません（平均-2℃）。同市から約2時間南下すると、ロッキー山脈沿いのウォータートン・レイク国立公園に入ることができます。

レスブリッジ市は、1870年代に先住民と連邦政府との条約にもとづいて入植が始まり、当初は石炭産業で発展してゆきます。市名は、カナダ高等弁務官であったサー・アレクサンダー・ガルトが炭鉱開発のためにイギリス本国で出資を募った際に、投資を行った会社の社員であったウィリアム・レスブリッジに由来します。（ガルトの名前も市内中心部にある公園の名前として残っています。）

1907年から1909年にかけて、カナダ太平洋鉄道は西部へ向かう路線の付け替え工事を行います。その際に建設されたのが、オールドマン川渓谷に架けられたレスブリッジ高架橋です。長さ1624メートル、高さ96メートルの鉄製高架橋は、カナダで最も長く高い橋であり、レスブリッジ市のシンボルとなっています。

同じ時期には、蒸気トラクターや乾式農法の導入など、農業技術の革新とともにアルバータ州南部に移民が多数入植します。当初は小麦、後には混合農業や砂糖大根の栽培が奨励されました。現在でも、農業、石炭鉱業、鉄道がレスブリッジ市経済の三本柱となっていますが、労働人口の半数は衛生、教育、小売、宿泊飲食産業などに携わっています。

第二次世界大戦中には日系移民がブリティッシュ・コロンビア州から強制移動させられ、移動先としてアルバータ州南部には2500人が割り当てられました。これは、戦時下で不足した砂糖大根農場の労働力を補うためでした。家族での移動が認められたものの、広大な農地での作業はつらい労働で、レスブリッジ市内への居住は許されませんでした。戦後になって日系移民に対する市民権が回復され、表だった差別が次第に薄らいでゆくなかで、1967年には市内に日加友好日本庭園が開設されています。こうした背景から、レスブリッジ市は日系人の比率が比較的高くなっており、2021年の国勢調査によると日本人人口は1460人（そのうち母語話者は215人）です。また、レスブリッジ市は青森県十和田市と沖縄県南風原町の友好姉妹都市にもなっています。

レスブリッジ大学とは

レスブリッジ大学は、1967年に州立大学として創立された南アルバータにおける唯一の総合大学です。レスブリッジ市中心部からはオールドマン川渓谷を挟んで向かい側に位置する西部地区にキャンパスを構えます。文理学部、経営学部、教育学部、芸術学部、健康学部の5学部と大学院で構成され、90以上の学部課程のプログラムと大学院課程のプログラムが開設されています。在学生は2022年9月時点で8263人（795人は世界90カ国からの留学生）となっており、RESEARCH Infosource（カナダの研究大学を評価するサイト）で2019年度3位、『マクリーン』（カナダの時事雑誌）の2021年度大学評価でカナダ国内の6位にランクされています。教育は少人数クラスと小コミュニティのなかで行われるのが特徴で、英語を母語としない学生のためのプログラムも毎年、春、夏、秋学期に提供されています。



レスブリッジ大学アンダーソンホール

レスブリッジ大学海外研修事業の概要とEAP授業

北海道がアルバータ州と姉妹州の協定を結んでからレスブリッジ大学と本学との交流が始まり、1986年から多数の学生を相互に派遣してきました。グローバル化が進展するなか、この学生交換事業は「語学研修」と「交流体験」を通じた英語力の養成と国際性の涵養が目的とされ、多くの実績と豊かな経験を蓄積してきました。

2014年度から、上記の事業にさらに「海外研修事業」を加え、人文学部では「英米文化特別演習」として3週間、「国際文化特別演習」として約3ヶ月間、レスブリッジ大学が提供するEAP（English for Academic Purposes）のプログラムに参加できるようになりました。EAPとは、英語を母語としない学生のためのプログラムで、大学で学ぶために必要な英語を習得する集中講座です。リーディングとライティング、コミュニケーションを専門の講師から学びます。受講生は授業初日のプレースメントテストにより初級から上級までの3つのレベルに分けられ、それぞれのレベルでリーディング&ライティング、コミュニケーションの2コースを受講します。2022年度の「英米文化特別演習」のスケジュールは以下の表の通りとなっていました。

SUNDAY SEPT 4	MONDAY SEPT 5	TUESDAY SEPT 6	WEDNESDAY SEPT 7	THURSDAY SEPT 8	FRIDAY SEPT 9	SATURDAY SEPT 10
ARRIVAL Meet homestay family Receive transit passes	LABOUR DAY University offices closed	9:00 AM – 4:30 AM Placement Testing and Orientation 4:30 PM – 6:00 PM Games in The Grove with International Students (Optional)	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication 3:00 PM – 5:00 PM Art Gallery Activity (Optional)	
SUNDAY SEPT 11	MONDAY SEPT 12	TUESDAY SEPT 13	WEDNESDAY SEPT 14	THURSDAY SEPT 15	FRIDAY SEPT 16	SATURDAY SEPT 17
	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing 11:30 PM – 12:30 AM Innovation Zone Activity (Optional) 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication 3:00 PM – 5:00 PM Japanese-English Conversation Cafe (Optional)	WATERTON TRIP (Optional –tickets \$40)
SUNDAY SEPT 18	MONDAY SEPT 19	TUESDAY SEPT 20	WEDNESDAY SEPT 21	THURSDAY SEPT 22	FRIDAY SEPT 23	SATURDAY SEPT 24
	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing 11:00 AM – 12:45 PM CKXU Radio Show 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication	9:00 AM – 10:50 AM EAP Reading & Writing LUNCH 1:00 PM – 2:50 PM EAP Communication 3:00 PM – 5:00 PM Japanese-English Conversation Cafe (Optional)	DEPARTURE

「英米文化特別演習」では前期の日本での事前学習と合わせて4単位、「国際文化特別演習」では現地での受講科目等に応じて上限20単位が、卒業に必要な単位として認定されます。さらに2020年度からは、北海学園大学とレスブリッジ大学両方の卒業を目指すダブルディグリー・プログラムも開始されています。

研修期間中、学生たちはアジア各国、南米諸国、中東からの留学生を中心とする多様な文化的背景を持つ人々と授業を受けることになります。またホームステイや世界各国からの留学生との交流を通して、あるいは国立公園の探訪などの体験を通してカナダの文化に触れ、多文化主義を体験することができます。



①出発前の新千歳空港にて ②学食で ③プレースメントテストの様子

レスブリッジ大学のアクティビティ【日本庭園やウォータートン国立公園等】

生きた英語力を身につけ、多様な価値観と国際性を慣用するためには、教室での学習だけでは不十分です。さまざまなアクティビティを通して、豊富な体験をすることも必要です。

研修中には大学も色々なアクティビティを用意しています。「英米文化特別演習」期間だけでも、世界各国の学生とのゲームを通じた交流会、美術館での鑑賞会、日本人学生と日本語を学んでいる学生との相互交流会、学内向けラジオ番組への出演などが企画され、ほとんどの学生が積極的に参加しています。またウォータートン・レイク国立公園への日帰り旅行(\$40)では、雄大なカナダの自然に触れることができます。



①～④ウォータートン・レイク国立公園にて ⑤大学の体育館にて
⑥ホームステイ先の家族と集合写真





3 Weeks

カナダでの経験と調査について



増田 美里

MASUDA Misato

1部英米文化学科2年

3週間カナダに留学し、レスブリッジ大学での英語の授業や大学の学生、現地の人々、ホストファミリーとの交流によって英語の能力を身に付け、カナダの文化や様々な国の文化を学ぶことができました。大学ではリーディングとライティングとコミュニケーションの授業を受け、リーディングのクラスでは長文読解や文章の要約の仕方、ライティングの授業では意見の書き方について学びました。また、コミュニケーションの授業ではクラスの学生とのディスカッションやパワーポイントを使用しての発表を行いました。大学では授業だけでなく学生同士の交流イベントも多く企画されていました。イベントを通して様々な国の人々と交流していく中で、日本語を勉強しているという学生にも出会い、英語や日本語で会話をしてお互いに言語理解を深めることができました。また、家ではホストファミリーとの交流によって英語に触れる機会が多く設けられました。私のホストファミリーには子供達がいたため、彼らと交流する上で家にいる時間でも英語に触れることができました。また、ホストマザーと会話する中で様々な単語や熟語、ことわざのフレーズや、カナダの食事や文化を学ぶことができました。

レスブリッジ大学で私はカナダの言語というテーマで調査を行いました。回答者の中には現地のカナダ人以外にイギリスやインド、マレーシア、エチオピア、フィリピンから訪れたという学生もいました。調査によって、カナダでは様々な国の人々が英語を使いながら交流し、多文化を認めているのだと再認識しました。

3週間のカナダ留学によって、英語力やコミュニケーション能力、異文化を学ぶという貴重な時間を過ごすことができました。また、今回の留学で一番印象に残っていることは人と人との距離の近さです。レスブリッジでは、道ですれ違う人やバスの運転手さん、また店員さんなど、初対面の人でも明るく挨拶をしてくれました。私はこのように明るくコミュニケーションを取ることに魅力を知り、留学を終えた後も人とのコミュニケーションをより大切にしようと心がけています。留学という経験によって英語力や異文化だけでなく、ホストファミリーという家族関係や新たな交友関係も築くことができ、人との関わり方や考え方も深めることができました。



3 Weeks

とても充実したカナダでの3週間



佐藤 名那子

SATO Nanako

1部英米文化学科2年



私は2022年カナダ3週間プログラムに参加し、9月4日から9月25日までカナダに行きました。私はこの3週間プログラムで、たとえ相手が何を話しているのか理解できなかつたり、自分が言いたいことがうまく言えなかつたりしても、相手に伝えようと努力することが大事だということ学びました。

私はレスブリッジに到着してまだ間もない時、ホストファミリーに言いたい事が伝えられず、とても困りました。言いたい言葉の単語が出てこなかつたり、文法が分からなかつたりと、いろいろ不安になってしまい、ホストファミリーと会話をするのが怖かったです。しかし、本当に言いたいことが伝えられないときは翻訳機を使おう、と割り切って考えるようにすると、案外たどたどしい英語でも相手が汲み取ってくれて、言いたいことを伝えることが出来ました。先のことを不安がって行動しないのは、もったいない、と感じました。せっかく外国に行くチャンスがあるなら、自分がやりたいことを全てやり切って帰ろう、という心構えで行くべきだと思います。

レスブリッジ大学の授業では、英語だけではなく、様々な国の文化も学ぶことが出来ました。私のクラスには、韓国や台湾など様々な国から来た学生がいました。彼らと休憩時間の際に、よく自分のことについて会話をしました。好きな食べ物やスポーツ、場所などを教えてもらいましたが、その中で私が最も興味を持ったことは、それぞれの国によって異なるアニメキャラクターの名前です。日本のアニメキャラクターが、国によって名前が異なることにとても驚きました。そのほかにも今まで知らなかったことをたくさん知ることが出来て、とても勉強になり、楽しかったです。

たくさんの人と出会い、学ぶことができ3週間という短い間でしたが、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。不安なことも多かったですが、改めて考えてみると思い切って留学に挑戦してみても良かったです。この3週間で仲良くなった人たちと、いつか再会できたらと思います。



14 Weeks

My Canadian Experience



高橋 乃愛

TAKAHASHI Noa
1 部英米文化学科2年

Lethbridge で過ごした特別な4か月は私の誇れる財産です。はじめの1か月ほどは特に毎日が葛藤との戦いでした。たとえば、日常会話の中で、何気ない相槌の言葉が英語では咄嗟に思いつかず、自分の意思をうまく伝えられない場面が何度もありました。そこで毎日辞書を活用しながら英語で日記をつけ、身の回りに起きたことの vocabulary を地道に増やす努力をしました。また、ホストファミリーや友達との会話の中でできたフレーズは可能な限り、その都度メモをとるようしてネイティブスピーカーから様々な言い回しを“盗む”ことを心がけて生活していました。時には会話を止め、どのようにスペルを書くのか聞いたこともあります(笑)。そうして、少しずつ自分の思いを英語でも伝えられるようになっていきました。また、授業の中で Essay を書く機会が多々

ありました。私の提出した課題は訂正やアドバイスのコメントで溢れ、先生のペンの色で真っ赤に染まっていました。そこで、何度も特訓を重ね、文章構成などを学びました。かつて Essay を書くことが苦手だった私が、今はむしろ Essay を書くことが好きです。留学前には苦痛であったはずの Essay は現在では私の強みになりました。

留学の最大の利点は、語学の勉強を通して、その地域の文化や生活も同時に学ぶことが可能である点です。ホストファミリーはドイツとイランにルーツのある方でした。さらに、私は Lethbridge でカナダ人、アメリカ人、韓国人、メキシコ人、ウクライナ人、インド人など、互いに異なる文化や背景を持つ友人と出会いました。彼らと、自国のマナーについて話し合ったり、食事を共にしたりすることで、新たな発見がありました。その中でも、特に印象に残った topic は“ベジタリアン”についてです。ある日、畜産による温室効果ガスの排出と地球環境の破壊を懸念し、菜食主義の道を選んだという人から話を聞き衝撃を受けました。私自身そのような視点を持ち合わせたことがなかったからです。

留学経験は相手や世界のことを知るだけでなく、自分のアイデンティティを再認識する機会になります。また、物事を考える新たな視点をもたらすでしょう。新境地に足を踏み込み、挑戦することは、勇気が必要ですが迷っているなら行動するべきだと思います。私にとって4か月で得た経験は、これまで自分が勉強してきた数年間よりもはるかに有意義な時間でした。今後の目標はこの経験を無駄にしないよう、勉強を続ける努力をすることです。



14 Weeks

カナダでの留学生活



浅田 珠綺

ASADA Juki

1部英米文化学科3年

私は高校生の時に1か月の間だけ留学をした経験があります。そのときは期間が短かったこともあり、ホストファミリーとの関係や授業面で様々な後悔が残りました。学校の授業ではわからないまま放置すべきではなく、またホストマザーや外国人の友達ともっと親交を深めるべきでした。そこで私は、大学でチャンスがあればもう一度留学をして、より良い経験をしようと心に決めました。

カナダに着いて最初の頃は、周りが話す英語に全くついて行けませんでした。カフェなどの定員さんやホストマザーなど、すべての人が話すのが早く、私が生きた英語に慣れていなかったこともあり、理解できないことがほとんどでした。さらに質問することもできず、授業中も発言することがなかなかできなかったため、とても焦りを感じていました。

しかし時間がたつにつれ耳が慣れ、英語が聞き取れるようになり、何かを尋ねることに対する恐怖が減っていきました。以前の留学で後悔してしまった授業中も積極的に発言し、ホストファミリーともコミュニケーションをとることができました。ホストマザーは忙しい方だったので遠出はできませんでしたが、どこか買い物に誘ってくれたときはあまり断ることはせず、ついて行くことで交流を深められたと思います。また日本人以外の留学生のクラスメートとも仲良くなることができ、放課後や休みの日にショッピングモール、カフェなどに出掛けたことはとても楽しかった思い出です。お互いに住んでいる国も言語も違うため、日々の生活習慣、文化を教え合いながらたくさん話げできました。

たった数ヶ月の短い期間でしたが、その期間はとても充実していて、忘れられない経験です。また、様々な人とコミュニケーションを取る上で大切なことは、怖がらず口に出してみるということだと実感しました。コロナ禍で大変な時期でしたが、留学に参加することができて本当に良かったです。

学生の間でなかなかできないことは多くあり、留学はその一つだと思います。後悔のないように、やりたいことは諦めずに挑戦することが大事だと思います。



Lethbridge 3Weeks Photo Gallery



研修までの流れ



海外研修事業の歴史

人文学部 英米文化特別演習／国際文化演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	引率教員	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成12(2000)年度 7月7日～8月13日	宝利 尚一 米坂 スザンヌ	18名 (男子7名、女子11名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ
第2回	ブロック大学	平成13(2001)年度 7月8日～8月12日	井上 真蔵 岩崎 まさみ	22名 (男子5名、女子17名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ
第3回	ブロック大学	平成14(2002)年度 7月7日～8月11日	桑原 俊一 上野 誠治	20名 (男子3名、女子17名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ
—		平成15(2003)年度 SARSの流行により中止			米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 大石和久
第4回	ブロック大学	平成16(2004)年度 9月4日～9月26日	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ	25名 (男子2名、女子23名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ
第5回	ブロック大学	平成17(2005)年度 9月4日～9月25日	栗原 豪彦 米坂 スザンヌ	24名 (男子4名、女子20名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 中川 かず子
第6回	ブロック大学	平成18(2006)年度 9月3日～9月24日	中川 かず子 イアン・マンビ	20名 (男子6名、女子14名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 中川 かず子
第7回	ブロック大学	平成19(2007)年度 9月2日～9月23日	上野 誠治 池内 静司	22名 (男子4名、女子18名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 中川 かず子
第8回	ブロック大学	平成20(2008)年度 9月1日～9月21日	桑原 俊一 本城 誠二	23名 (男子0名、女子23名)	岩崎 まさみ 上野 誠治
—		平成21(2009)年度 世界流行のインフルエンザにより中止			岩崎 まさみ 上野 誠治
第9回	ブロック大学	平成22(2010)年度 9月5日～9月26日	岩崎 まさみ ウィリアム・ケイ	27名 (男子5名、女子22名)	米坂 スザンヌ 岩崎 まさみ 中川 かず子
第10回	ブロック大学	平成23(2011)年度 9月4日～9月25日	田中 洋也 ウィルマ・ルース	26名 (男子5名、女子21名)	米坂 スザンヌ 寺田 吉孝
第11回	ブロック大学	平成24(2012)年度 9月3日～9月23日	岩崎 まさみ ジェレミ・ブシャー	24名 (男子8名、女子16名)	米坂 スザンヌ 田中 綾
第12回	ブロック大学	平成25(2013)年度 9月1日～9月22日	上杉 忍 ブリックリン・ゼフ	13名 (男子3名、女子10名)	米坂 スザンヌ テレント・アイトル
第13回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成26(2014)年度 8月31日～9月21日	柴田 崇 米坂 スザンヌ	14名(男子2名、女子12名) 12名(男子3名、女子9名)	米坂 スザンヌ 田中 洋也 テレント・アイトル
第14回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成27(2015)年度 9月6日～9月27日	ジェレミ・ブシャー	14名(男子2名、女子12名)	米坂 スザンヌ 上野 誠治 ジェレミ・ブシャー
第15回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成28(2016)年度 9月6日～9月23日	米坂 スザンヌ	12名(男子2名、女子10名)	米坂 スザンヌ 本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第16回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成29(2017)年度 9月6日～9月22日	大森 一輝 テレント・アイトル	13名(男子6名、女子7名) 12名(男子8名、女子4名)	米坂 スザンヌ 本城 誠二 ジェレミ・ブシャー
第17回	ブロック大学 レスブリッジ大学	平成30(2018)年度 9月3日～9月21日	森川 慎也 ジェレミ・ブシャー	11名(男子7名、女子4名) 10名(男子4名、女子6名)	米坂 スザンヌ 渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
第18回	ブロック大学 レスブリッジ大学	令和元(2019)年度 9月1日～9月22日	上野 誠治 ジェレミ・ブシャー	10名(男子5名、女子5名) 10名(男子5名、女子5名)	米坂 スザンヌ 渡部 あさみ ジェレミ・ブシャー
—		令和2(2020)年度、令和3(2021)年度 新型コロナウイルス感染症の流行により中止			
第19回	レスブリッジ大学	令和4(2022)年度 9月4日～9月25日	仲丸 英起 ジェレミ・ブシャー	12名(男子4名、女子8名)	米坂 スザンヌ 大森 一輝 ジェレミ・ブシャー



人文学部 国際文化特別演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成27(2015)年度 9月8日～12月18日	3名(男子1名、女子2名)	米坂スザンヌ 上野 誠治
	レスブリッジ大学	平成27(2015)年度 9月9日～12月17日	3名(男子2名、女子1名)	ジェレミ・ブシャー
第2回	ブロック大学	平成28(2016)年度 9月6日～12月16日	3名(男子2名、女子1名)	米坂スザンヌ 本城 誠二
	レスブリッジ大学	平成28(2016)年度 9月7日～12月15日	3名(男子2名、女子1名)	ジェレミ・ブシャー
第3回	ブロック大学	平成29(2017)年度 9月6日～12月16日	3名(男子1名、女子2名)	米坂スザンヌ 本城 誠二
	レスブリッジ大学	平成29(2017)年度 9月7日～12月15日	3名(男子2名、女子1名)	ジェレミ・ブシャー
第4回	ブロック大学	平成30(2018)年度 9月4日～12月14日	2名(男子1名、女子1名)	米坂スザンヌ 渡部 あさみ
	レスブリッジ大学	平成30(2018)年度 9月4日～12月14日	2名(男子2名、女子0名)	ジェレミ・ブシャー
第5回	ブロック大学	令和元(2019)年度 9月4日～12月14日	3名(男子1名、女子2名)	米坂スザンヌ 渡部 あさみ
	レスブリッジ大学	令和元(2019)年度 9月3日～12月13日	3名(男子1名、女子2名)	ジェレミ・ブシャー
—	令和2(2020)年度、令和3(2021)年度 新型コロナウイルス感染症の流行により中止			
第6回	レスブリッジ大学	令和4(2022)年度 8月31日～12月19日	9名(男子1名、女子8名)	米坂スザンヌ 大森 一輝
				ジェレミ・ブシャー



Lethbridge 14Weeks Photo Gallery







令和5年3月発行

北海学園大学 人文学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
TEL: 011-841-1161 (内線2132)
FAX: 011-824-7729
北海学園大学 URL: <https://hgu.jp/>
北海学園大学人文学部 URL: <https://human.hgu.jp/>

edit : Labbott

